

## 知事コメント

令和2年7月11日(土)

本日、新たに米軍関係者の新型コロナウイルスの感染者が多数確認されたとの報告がありました。

沖縄県では、報告内容に衝撃を受けるとともに、県民が一丸となり感染防止に取り組む中、米軍関係者の感染が短期間で多数発生していることは、極めて遺憾であります。

また、これまでの米軍の感染防止対策に対し強い疑念を抱かざるを得ません。

このような状況を受け、私から直接、在日米軍沖縄地域調整官に対し、感染者数の公表や感染拡大防止の徹底、米側の公衆衛生当局・海兵隊政務外交部・沖縄県の基地対策課と地域保健課による会議の場を設置することなどについて、強く申し入れを行いたいと考えており、本日で電話会談をする調整を行っているところです。

また、国に対しては、本日、謝花副知事から、外務省特命全権大使(沖縄担当)の川村大使及び沖縄防衛局の田中局長に対し、要請を行いました。

要請の内容としては、

- (1) 感染者数などについて速やかな公表を行うこと。
  - (2) クラスターが発生している普天間飛行場とキャンプハンセンを閉鎖し、感染拡大防止の徹底を図ること。
  - (3) 基地内における警戒レベルを最高レベルまで引き上げること。
  - (4) 米本国等からの沖縄への移動を中止すること。
  - (5) 北谷町の民間ホテルで実施している移動制限措置については基地内で実施すること。
  - (6) 基地内の医療体制、検査体制に関する情報提供を行うこと。
  - (7) UDP(ローテーション配備)などで沖縄に入ってくる軍人等の人数の情報提供を行うこと。
- であり、昨日の要請よりも、強く申し入れたところです。

県としましては、県民の健康を最大限に重視しており、PCR 検査への誘導に努めてまいります。また、感染拡大に備えて、中部地域に軽症者及び無症状者の療養のための施設を確保してまいります。

米軍関係者の方々が、7月4日の独立記念日やその前後に、基地の外において夜の繁華街を楽しんだり、ビーチパーティを開催したりしていたという情報もあります。

基地内のクラスターを県内に広げないために、昨日もお願いしましたが、このようなパーティに参加された方で、体調不良がある方は、速やかにコールセンター「098-866-2129」や医療機関にご相談くださいますよう、お願いします。

県民の皆さま、沖縄県にいらっしゃる皆さまに、再度、お願いを申し上げます。

是非とも、withコロナの社会であることを十分認識していただき、「新しい生活様式」を徹底していただきますようお願いいたします。

県としましては、引き続き感染拡大防止、重症化予防、県民生活への影響を最小限に留めるための対策に、全庁的に取り組んでまいります。